



いいで町

177号

議会だより



楽しい思い出をありがとう 令和2年3月で休園となる手ノ子幼稚園卒園式

3月定例議会

3月定例会・新年度予算等	P 2
政策提言	P 4
施政方針	P 5
総括質疑	P 6
一般質問	P 8
予算審査特別委員会	P16
総務文教・産業厚生常任委員会	P20
各委員会活動報告	P22

が一段落

一般会計 65億9200万円



期待する財政運営

概要

令和2年度第2回定例会は、3月4日から17日までの会期で開催されました。

一般質問は、8名の議員が2日間 にわたり、山形大学×EV飯豊センター、財政の運営計画、学校問題などを町政にたどりました。

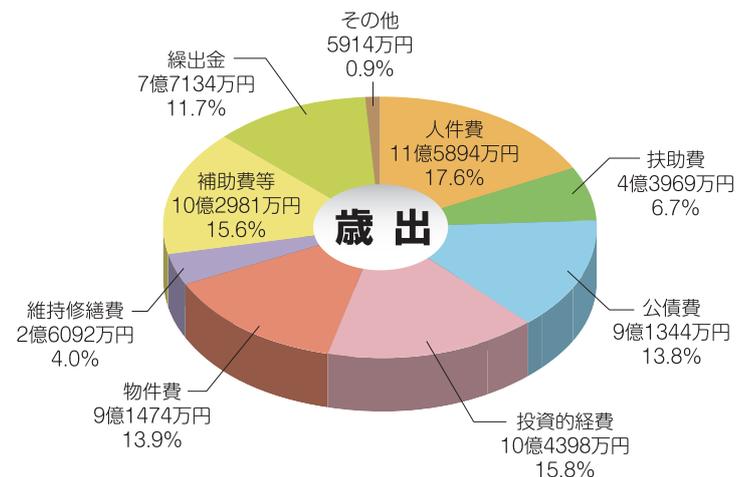
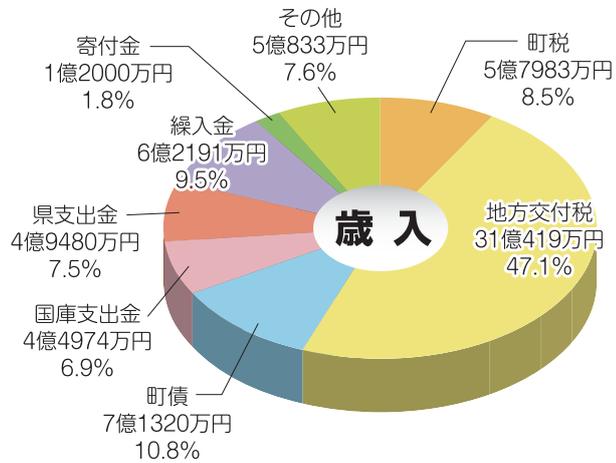
条例の設定や廃止、一部改正、補正予算、人事及びその他を審議し、全て原案のとおり可決しました。

令和2年度一般会計及び特別会計予算13件は、予算特別委員会を設置し、付託審査しました。

令和2年度当初予算額

会計名	予算額	
一般会計	65億9200万円	
特別会計	国民健康保険	8億6147万円
	事業勘定	7億6426万円
	直営診療施設勘定	9721万円
	後期高齢者医療	9472万円
	介護保険	10億7919万円
	訪問看護	1805万円
	介護老人保健施設	2億9277万円
	下水道事業	4億1735万円
	萩生財産区	41万円
	豊原財産区	32万円
	添川財産区	393万円
	豊川財産区	22万円
	中津川財産区	755万円
	水道事業会計	5億1905万円
損益勘定	2億793万円	
資本勘定	3億1112万円	
合計	98億8703万円	

一般会計 65億9200万円



大規模な投資的事業

令和2年度
予算あらまし

一般会計予算は、前年度と比較して24・4% 21億2600万円減の65億9200万円となりました。

主な歳入

- 社会資本整備総合交付金 1億9404万円
- ふるさと納税寄附金 1億2000万円
- 町たばこ税 1925万円
- 地方消費税交付金 1億3100万円
- 多面的機能支払交付金 1億516万円
- 畜産経営競争力強化支援事業補助金 3735万円

主な事業

障がい者
自立支援事業

2億146
万円

新産業集積事業
(貸工場外構工事など)

1億7557
万円

道路維持事業

2億1061
万円



外構工事が予定されている貸工場

除雪事業

2億2686
万円



2年目の大規模工事計画の中学校

中学校
大規模改修工事

1億9769
万円



改修工事予定の共同調理場

災害対策事業

1367
万円

空き家対策事業

1551
万円

共同調理場
運営費

1億4371
万円

町民の声を提言に

政策提言

提言の趣旨

今年度は、町内4団体の皆さまと「意見交換会」を実施し、町民の意見が政策提言に結びつけることを目的に公聴の場をもうけました。

その中で出された意見、要望等を中心に、各常任委員会、議会運営委員会で議員間討議し集約したものを、定例会初日に、政策提言を町長に行ったものです。

政策提言後、担当課から回答をもらい、施策実施状況を検証・評価に結びつけていきたいと考えています。

提言5項目

● 持続可能なまちづくりと町民が満足できる行政サービスの提供のために

① 第5次飯豊町総合計画に合わせて行財政改革大綱を作成すること。

② 行財政大綱に併せて「アクションプログラム」を策定すること。

● 教育環境の整備充実について

① 新学習指導要領が実施されるにあたり、「言語能力と情報活動能力」を育成するデジタル教科書、電子黒板等のICT環境を早期に整備し、専門的知識職員を配置すること。

② 「働き方改革」を進め、学校支援員や地域学校協働活動推進員などスクール・サポート・スタッフの拡充配置を早期に行うこと。

● 飯豊電池バレー構想で着実な

町民雇用を

① 企業が町民の雇用を確実に実行するよう、確約させること。

● 地域づくり・町づくりの拠点整備を

③ 「公民館」の名称を改め「町づくりセンター」と名称すること。

④ 町民の要望等に対応できるよう、意志疎通を図り、縦割り行政にならないよう努めること。

● 町内経済活性化策は住環境整備で

① 民間投資で子育て世帯・単身者向け住環境整備に取り組めるよう、独自の施策を展開すること。



町民の声を実現に

施政方針

SDGs・気候非常事態宣言し 社会的責任を果たしてまいります



飯豊町長

後藤 幸平

気候非常事態宣言

SDGsが掲げる「誰一人取り残さない世界の実現」は、本町が当初から掲げている「住民主体のまちづくり」「手づくりのまち いいで」そのものであり、あらゆる事業にSDGsを意識しながら「持続可能なまちづくり」に取り組んでまいります。

近年の過去に例をみない異常気象に対し、「気候非常事態宣言」を行い、SDGs 未来都市に選定されている全国60自治体の他、日本政府や地方自治体に連携をよびかけてまいります。

予算編成方針

「田園の息吹が暮らしを豊かにするまち」の実現に向け、飯豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた各プロジェクトを着実に実行します。

飯豊中学校等の公共施設の改修等によって基金の取り崩し、第一小改築・貸工場等大規模事業に伴って地方債残高の増加により、改善を図る必要がありますが、各施策の計画的な実行に向け、機を逸することなく必要な投資を織り込みました。

にぎわいあふれるまちづくり

- 飯豊型エコハウスの普及促進
- (婚活)いい出会いサポートセンターの運営
- 古民家リノベーションによるいいで村を創ろうプロジェクト
- 空き家対策の推進

自然と共生するまちづくり

- 新潟山形南部連絡道路「飯豊町区間」及び主要地方道長井飯豊線小白川地内の早期事業化の取り組み
- 道路、橋梁、水道、下水道等の長寿命化サービス水準の維持

生きがいと笑顔のまちづくり

- 特定健康診査事業
- 健康元氣いいで町ポイント事業
- 子育て世代包括支援

豊かな感性を育むまちづくり

- 英語・ITCコーディネーター継続配置、外国語指導助手2名配置
- デジタル教科書・電子黒板等のITC環境の充実
- 飯豊中の規模改修
- 各地区公民館を「地区まちづくりセンター」へ一本化
- 町民スポーツフェスティバルの開催
- 町歴史文化基本構想の策定

ここわたりの産業づくり

- バイオマス発電事業
- スマート農業の推進
- 森林環境譲与税の活用事業
- 飯豊電池バレー構想による専門職大学誘致、

安全・快適なまちづくり

- 洪水ハザードマップの作成
- 消防団組織体制充実
- デマンド交通の継続

持続可能なまちづくり

- 第5次総合計画と9地区による「地区別計画」の策定
- 町職員の人材育成
- 持続可能なまちづくりを可能とする行財政運営



総括質疑

まちづくりの未来に期待 施政の方針に問う



高橋 亨一 議員

持続可能な
まちづくりは

体となり、持続可能なまちづくりを進めていきます。

問 町内に大手自動車関連企業が稼動し、新産業集積事業関連の貸工場も完成するが、総合計画は。

町長 これまで「住民主体のまちづくり」「手づくりのまち いいで」をまちづくりの原点として、地域住民主体のまちづくりを行ってきました。

田園散居集落景観は、先人から受け継いできた農村の原風景を後世に残すべき貴重な財産です。

今後も地域住民が主

介護保険料の
軽減は

問 団塊世代の高齢化が進み、介護保険の成立が危ぶまれる中、健康寿命を延ばす政策が大事だと思うが、十分な予算配分か。

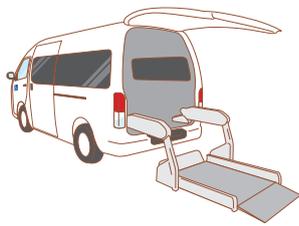
町長 平成29年度に「飯豊町生活支援・介護予防サービス推進協議会」を設置し、「除雪の支援」「移動の支援」を重点項目に取り組んでいます。

「除雪の支援」は支え合いの仕組みができ

た地区をモデルに、多くの地区への波及を目指しているところです。

「集まる場所の支援」は、萩生と椿地区に住民主体の「地域の居場所」が設置されました。「移動の支援」は「ほへみカー」「福祉タクシー」などを活用し移動支援を充実していきます。

また、「ほのほのサロン・温泉サロン・ゆうゆうクラブ」「らくらく筋トレ教室」「安心生きがい訪問事業」「緊急通報システム」の運用」等、継続していきます。



「こだわりの産業
づくり」森林整備
と林業振興は

問 森の果たす役割は、水源涵養や水災害防止など、大きな果たす役割があります。早急な森林整備と林業振興を進め、鳥獣被害や病害虫被害の防止対策は、どのように図るのか。

町長 森林環境譲与税を活用し、次のことに取り組んでいきます。所有者への意向調査と森林境界の明確化と里山の下刈りや間伐を行い、人と動物を分けるバッファゾーンの緩衝地帯を整備し、鳥獣被害や病害虫の防止に努めます。



森林整備で鳥獣被害防止対策を

公開します！議員の賛否！

令和元年度3月定例会で審議した主な議案とその結果

上程された議案・概要	賛成	反対
条例の一部改正		
飯豊町森林環境譲与税基金条例 ・当該譲与税を適切に管理し、森林整備に関する諸施策の財源にあてる提案	9	0
いいで天文台の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 ・小学生と中学生の使用料を同一料金（150円）とする提案	9	0
飯豊町ふるさと定住いいですね条例の一部を改正する条例 ・新たな住宅取得奨励を創設（30万円）する提案	9	0
エルベ、しらさぎ荘、白川荘の管理に関する条例の一部を改正する条例 ・使用料を徴収する範囲を改め、併せて指定管理者が管理を行う場合の施設利用について利用料金制に改める提案（使用料項目削除）	9	0
飯豊町雪室施設、飯豊町体験農園施設（宇津沢）、飯豊町休養施設（とよさと荘）、飯豊町観光レクリエーション公園（ゆり園、岳谷親水公園）の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 ・使用料徴収に関する規定を改める提案（使用料項目削除）	9	0
飯豊町観光物産館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 ・使用料を徴収する施設範囲を改め、利用料金制とする提案（使用料項目削除）	9	0
飯豊町眺山源泉（しらさぎ荘）使用条例の一部を改正する条例 ・源泉の供給及び管理に関する規定を加え、源泉使用料の徴収規定を削減する提案	9	0
予 算		
令和元年度飯豊町一般会計補正予算（第12号）	9	0
令和2年度飯豊町一般会計予算 ・前年度対比24.4% 21億2600万円減の65億9200万円とする提案 ・反対討論（遠藤芳昭議員）：近年の大型事業によって、借金である公債費が増大しており、財政は危機的状況と判断する。抜本的行財改革が必要。	8	1
令和2年度飯豊町特別会計予算 ・国民健康保険特別会計 他11案件 総額27億7598万円を提案	9	0
令和2年度飯豊町水道事業会計予算 ・損益勘定及び資本勘定あわせて5億1905万円を提案	9	0
そ の 他		
公の施設の指定管理者の指定について（飯豊町福祉事業所「でんでん」） ・指定管理者 長井市森654番地 社会福祉法人すぎな会 理事長 鈴木英次 ・指定期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日まで	9	0
飯豊町気象非常事態宣言について ・人間の活動による地球温暖化に起因する気候変動が、人間社会や自然環境にとって、既に著しい脅威となっていることを認識するとともに、SDGs未来都市として取り組む活動をしめした「気候非常事態宣言」について、議会の議決をもとめる。	9	0

一般質問

子どもから大人まで 不安なく暮らせる町づくりに



高橋 勝 議員

本町農業の将来 ビジョンについて

質問 経営所得安定策のどの部分が町独自の小規模農家、兼業農家支援策になるか。

園芸作物49品目に 産地交付金を交付

町長 園芸作物助成として野菜や花木など49品目に10アールあたり1万5千円の産地交付金を交付します。

小規模農家等で生産される品目を中心に選定し2年度からはワラビを追加しました。中山間地が多い本町において山菜による水田利活用につなげます。

企業および老人 健施設の人員確保 について

質問 人員確保が困難な状況下で誘致企業の就労支援として、専門部署の設置を。また介護老人保健施設の採用人数を退職者数が上回っている。しかも働き盛りの40代が多い現状をどう受止めるか。

全体の人事管理、定員管理を考慮しながら検討

町長 専門部署の設置には職員の適切な配置にも関係し全体的なバランスにも配慮する必要があります。また臨時職員として雇用している介護職員については、若い世代が安心して定着できる正規雇用は大きな課題として捉えているので、町全体の人事管理・定員管理を考慮しながら検討します。

県が検討中の農林専門職大学における実習地について

質問 県が2023年度の開学をめざす農林専門職大学。県内4地域に実習先を確保とあります。実習先候補地として積極的な情報収集をし、実習生の滞在宿泊に遊休施設の活用があるのでは。

農林業関係者や地 域と連携し積極的 に働きかけていく

町長 本町は持続可能な農林業を実践しており実習地として最適な場所と考えていることから、今後は積極的に県に働きかけていきたいと考えています。また、地域の課題である遊休施設の解消につながる事が期待できるので農家民宿や瑞穂寮

など現有施設の有効活用と併せて検討します。
通学路の安全確保と対策について

質問 主要地方道長井飯豊線・小白川地内の隘路が解消されるまで、通年のスクールバス通学にできないか。

学校・保護者の意 向を確認しながら 検討

教育長 体力増進の面からも現行のとおり徒歩での通学と考えています。しかし一部歩道が設置されていない区間があることから、その区間のスクールバス運行を今後検討する必要があります。とあります。

(本人執筆)



農業実習地として最適な
本町の農林業

一般質問

山大xEV飯豊センターの現状と 第三セクター・学校再編の行方は



遠藤 芳昭 議員

山大研究センターは稼働しているのか

質問 山形大学の学長が「うまく稼働していない」「閉鎖したい」との報道があった。

今後継続されるとのことだが、市民の不信感はぬぐえていない。これまでに18億も投じている同センターの雇用状況とこれまでの研究成果、今後の活用について聞きたい。

大学の要請により設置 施設継続に期待したい

町長 同センターは大学の要請があつて3者（大学・山銀・町）で設置したもので、大学の



山形大学 xEV研究センター

管理の問題が露呈化したものと理解しています。現在5人が雇用されています。3者連携の拠点、貸し工場に入る会社への技術の提供、人材育成の拠点施設、申請中のモビリティシステム専門職大学が設置された場合、授業において活用してもらう予定です。

第三セクターへの今後の指導について

質問 町の観光交流施設に対し4つの第三セクターが指定管理を行っているが、経営が厳しく、5年契約の2年目で指定管理料の見直し、使用料の減免等が提案されている。不採算部門には売却・縮小・廃止等根本的な対応も必要ではないか。

厳しい経営実態 経営改善計画策定中

町長 指定管理料は決算状況の実績及び利用料によって運営することを基本に算定しています。各第三セクターにおいて、経営健全化計画を策定中であり、第5次総合計画のなかにも新たな支援の仕方方向を示していきます。

小学校再編、今後の取り組みは

質問 町教委は第二、手ノ子、添川の3校を1校に再編すべく、1年間、各学区検討委員会において意見をとりまとめた。その結果、2学区において反対とのことであるが、検討委員会ははじめ、保護者の意見や地域との関係について、今後どのように対応していくのか。

再編に向けた検討・準備は今後も継続

教育長 教育環境の整備と地域の課題は別とお願いしました。結果的に統合反対となりました。0歳児から小学生の保護者アンケートでは「再編は進める・やむを得ない」が8割を超えています。児童数減少は避けられず、再編に向けた検討準備は今後も継続します。
(本人執筆)



3校再編の受け入れ校とされている第二小学校

一般質問

山形大学との連携は大丈夫 町長・町民にお詫び・三者協議で確認!!



遠藤 忠 議員

**山形大学報道記事
その後の対応は**

質問 今回の新聞報道は町民に衝撃が走りました。町民に対する説明責任は。

**三者協議で
運営継続確認**

町長 1月21日からの新聞報道やテレビ報道などにより、町議会及び町民の皆様には大変ご心配やご迷惑をおかけしました事にお詫び申し上げます。今後の合意は、①三者連携協力に関する協定の継続 ②山形大学 x EV 飯豊研究センターの継続利用 ③推進体制の再構築の3点と飯豊電池バ

レー構想を加速させることを確認しました。

**飯豊町
歴史文化基本構想
資料館整備は**

質問 飯豊町の文化財

飯豊遺産は約1千点、各地に点在し、保管もばらばらな状態なので有休施設を活用した資料館の整備は。

**手作りの文化財
活用・保存を視野に**

教育長 多くの歴史文

化資料は町内の公共施設に分散保管の状態です。町の歴史を伝えきれていません。

町長 手作りの文化財活用保存を遊休施設の活用と官民連携で検討

**黒沢渡邊吉郎碑の
保護整備は**

質問 渡邊六郎兵衛家

から江戸時代1805年渡邊吉郎という医師が輩出されました。現在黒沢にある石碑の保護整備をすべきでは。



渡邊吉郎碑

**保存修復可能
接合処理で**

教育長 碑の保存修復

完了後に周囲の所有者と相談し説明看板を設置。石碑の文字は分析

により判明した内容を表記します。

**いいでショッピング
タウンの整備は**

質問 町内で買い物す

る所、食事する所が少ない。将来の新潟山形連絡道・道の駅周辺の商業地開発と今後の大学開学に向けたショッピングセンターの整備、地元スーパーに対する支援策は。

地元スーパーを支援

町長 各お店の創意工夫で店舗の魅力向上に努めていただく。増資も含め地元スーパーを支援していきたいです。地元の農産品の販売、手軽な惣菜の提供も可能になると思います。

**5Gを活用した
町内のIoT戦略は**

質問 総務省が過疎債

5Gは社会資本として必要なインフラ

町長 スマート農業、今後の大学開学に向けて必要なインフラであるので、企画課で検討します。

**今後の財源を考慮し
SPC設立勉強会を**

質問 民間資金活用で

PFI方式のSPC・プロジェクトファイナンスを学習すべきでは。

民間資金で連携推進を

町長 民間の方にも情報提供し、手法を準備提示しながら連携します。

(本人執筆)

一般質問

空き家対策の取り組みと ふるさと納税の推進は



屋嶋雅一 議員

空き家の現状と解体における補助比率は

質問 現在危険空き家が48件あるが、その空き家の状態と解体における補助比率は。

最大で50万円まで交付

町長 現在既に倒壊しているもの11件、倒壊の危険が高いものは29件、損傷が激しいものは8件となっています。また解体における補助金については、経費の2分の1以内40万円を上限とし、町内業者施工の場合は、さらに10万円を加算し、50万円を交付しています。

再質問

危険空き家の放置は問題。事故が起きてからでは遅い。所有者から理解を得て、早急に解体・撤去が必要と考えるが。

法的措置も視野に

町長 現在、所有者に解体の意思があるかな



倒壊のおそれのある危険空き家

どの意向調査を行っていません。結果を踏まえ法的措置が必要と考えられるものを、特定空き家等として決定してまいります。

空き家の利活用推進は、PRも含めどのように考えているか

質問 空き家バンクへの登録数を増やすために、PRの強化が必要では。また、空き家をリフォームし利用者のニーズに合った利活用が必要では。

住環境整備を見据えて空き家活用の施策を

町長 古民家リノベーションによるカフェやゲストハウスなどの利用、飯豊電池バレー構想や町内企業の事業拡張による人口の増加に伴う住環境整備を見据え、空き家を活用する

施策を検討してまいります。

ふるさと納税の返礼品が少ないのでは

質問 2017年比で2019年のふるさと納税の寄附は、件数・金額とも85%減少している。現在54品の返礼品だが、新たな返礼品の検討が必要では。

魅力ある事業メニューや魅力ある返礼品を準備

町長 納税する側のプレミアム感が薄れたことによるものと推察されます。今後全国の納税者に寄附していただくように、魅力ある事業メニューの設定や魅力ある返礼品を準備し見直しを行います。

ポータルサイトで宣伝を

質問 ポータルサイトを利用した宣伝をどう進めていくか。また、おもてなしが大切と思うが。

おもてなしの心 商いの心で

町長 サイトを増やし、なるべく目につくようにします。また、相手の立場に立って、おもてなしの心・商いの心で検討していきます。

(本人執筆)



飯豊米のふるさと返礼品

例年にない少雪対策と 電池バレー構想について



舟山政男 議員

少雪対策について

質問 今年の冬はまれにみる少雪で、生活しやすい年であったが、他への影響も懸念される。水不足が特に心配されるが、どのように考えているか。

暖冬少雪に対応した農作物の技術を周知

町長 春先における農作物の軟弱徒長や病害虫の発生などに加え、寒気の一時的南下による凍霜害等の発生が懸念され、2月9日に開催した生産組合長会で農作物の被害軽減・拡大防止対策の留意点をまとめたものを配布し、出来る限りの対策を行

うよう呼びかけました。また、農業用水確保のため、地域の水利組合や土地改良区、白川ダム管理支所と連絡を密に対応していきます。

除雪対策については

質問 来シーズンのオペレーターの確保及び、業者所有機械の管理費、待機補償や最低補償制度の導入、また資金繰りの考えはあるか。

重要な課題と認識

町長 幸いにも今シーズンには除雪作業にあたっては、交替要員も含め必要な人数を確保していたものの、来年度以降も不足のない人材を確保し続けることを

考えた場合、非常に重要な課題であると認識しています。自社所有の除雪機械の管理につ

いては、次年度にむけて200時間を想定しており、150時間まで補償できるような検討します。除雪予算の執行は現時点で22%です。資金繰りとして要望のあったオペレーターの働く場の確保のため、臨時会において補正予算を確保しました。

電池バレー構想については

質問 1月24日河北新報の取材に、この構想は頓挫しないで進めてほしいと応じました。理由は今後のリチウム電池の必要性。かつて町にあった企業とそれに関連する裾野の広い仕事に関わることができたように、高齢化社

会に向けた仕事の一端として必要と考えていることについては。

飯豊電池バレー構想は飯豊町がめざす将来像に合致したものの

町長 新聞報道により町民の皆様に変なご心配やご迷惑をおかけしました。その後、三者で検討を重ねた結果「三者連携協力に関す

る協定の継続」、「山形大学×EV飯豊研究センターの継続利用」推進体制の再構築」の3点について合意し、飯豊電池バレー構想を加速させることを改めて確認しました。今後ともこれまで同様、事業の推進を通して地域活性化のために一層努力してまいります。

(本人執筆)



雪のない走行しやすい道路

一般質問

持続可能な未来都市を 確立するためには



高橋 亨一 議員

**持続可能な未来都市
を確立するために**

質問 2月20日に、山形大学が今後も継続運営とし、飯豊研究センターの管理運営体制を新たな体制づくりにすると、発表された。町の今後の対応策は。

飯豊町研究センターは継続運営で

町長 山形大学×EV飯豊研究センターの継続利用などについて合意に至り、撤退という最悪の事態は避けることができました。

飯豊電池バレー推進委員会を組織し、研究センターを拠点に産業振興の人材育成や雇用

創出、交流人口拡大の実現を目指していきます。地域活性化とまちづくりなど多岐にわた

り、波及効果が期待でき、住民のニーズに対応できるよう組織体制の見直しを行っていきます。

今後の財政状況は

質問 近年大規模事業に取り組んでいることから、財政を判断する各種指数と比率が悪化している。予算編成にあたり、財政の安定状況は。

**持続可能な
財政運営を図る**

町長 近年、地方債を財源に、新産業集積事

業や第一小学校改築事業を実施し、今年度は貸し工場整備と中学校の大規模改修事業を3年かけて実施していくことから、事業の償還金が集中する令和7年から2年間でピークになる見込みです。

**公債費等の
財政状況は**

質問 公債費が最高になるのは何年か。

また、その年の実質公債比率と3年後の、令和5年の財政状況は。

中期的な財政計画で

町長 町の実質公債比率は、平成30年度7.2%、令和元年度7.8%、令和2年度では9.2%です。

早期健全化基準である25.0%を大きく下回っており、財政の健全と見込まれます。実

質公債比率のピークとなるのは、令和8年度と想定しています。比率も18%を越えないものと考えています。早期改善を図り、健全で堅実な財政運営に努めます。

**少雪による町内商店
等への対策は**

質問 暖冬少雪の異例の冬となり、町内商店は売上げ減少に見舞われています。持続可能な未来都市に認証された本町として対策が必要と思いますが。

県は中小企業向けに融資制度支援を開始し町でも除雪待機料の早期支払いに対応しました。また、除雪委託料を工事請負費等へ予算を組み替えし、早期工事発注に努めます。

(本人執筆)

**除雪委託を
工事請負費に**

町長 異例の冬となり観光や地域経済への影響が大きいことから、「暖冬・少雪に関するアンケート調査」を行ないました。



今冬はまれにみる小雪
3月中旬 役場3階より撮影

一般質問

町長は 町民の付託にどう応えるのか



古山 繁巳 議員

町長の任期中に第一小学校のプール着工の約束は

質問 平成30年、一般質問の中で第一小学校のプールについて質問し、町長答弁で任期中に必ず作るとの事でしたがいまだに着工していません。町長の公約とはどの様にとらえているのか。

必要性は十分認識している、教育委員会から必要性について意見を頂戴している

町長 第一小学校のプール建設は私の公約集には記載していません。住民の皆さまからの強い要望があることから、

当時「重要な課題として検討してまいりません。」と答弁をしております。

この間、第一小学校の改修工事に多額の予算を費やしたことや、現在小学校の統合について地域や関係者の皆さんにご検討していること、状況と考えたとき、資金面や住民感情などを総合的に勘案して、今はまだ着工すべき時ではないと判断しています。私自身、必要性については十分認識しており、町教育委員会からも必要性についての意見も頂戴していますし、今後時期を見て着手してまいります。

山形大学×EV飯豊研究センターの今後のかわりは

質問 新聞やテレビ等で話題となった山形大学×EV飯豊研究センターの実態が明らかに、今後は。

ふさわしいセンターのあり方について検討して

町長 山形大学は米沢市に、機能性ハイブリッドセパレータ実証研究施設を所有し、研究内容に応じて使い分けしています。

従来から積み上げてきたものを基盤とし各種事業を着実に実施し、ふさわしいセンターのあり方について検討してまいります。

再質問 5人の作業員がいるとのことだがどのように働いているのか。

町長 開所以来働いています。

再質問 赤門学院に対する補助金の執行はどうか。

町長 認定基準で建屋の問題、開学に向けて令和元年度に前払いとして執行しました。

再質問 認可が出ないうちに執行とはなぜか。

町長 文科省にも裏付けは取っております。

再質問 議会との約束

では、認可がでないうちの執行はしないように約束していたはずだが。

町長 赤門との信頼関係で執行しました。

再質問 認可が下りなければどうなるのか、議会になぜ報告しなかったのか。

町長 認可の前に建物が必要とのことで概算払いで40%を執行しました。(本人執筆)



プール着工いつになるのか

一般質問

新潟山形南部連絡道路等 幹線道路へのアクセス等に係る道路計画は



川崎 祐次郎 議員

新潟山形南部連絡道路及び幹線道路へのアクセスについて

質問 新潟山形南部連絡道路（仮称）飯豊小国間については、多角的な視点に立った道路計画を早急に整備すべきでは。また、置賜県議団として、重要物流道路の指定を国に要望している。新潟山形南部連絡道路から県道など幹線道路や町道へのアクセスを考慮し、町民の利便性や観光地への誘客の導線を考える必要があるのでは。

3箇所のインターを要望したい

町長 町が考えているルートとしては、東山

工業団地から物産館（道の駅）に至る既存の道路の拡幅を国土交通省に要望したい。また、既存の道路の北側ルートと南側ルートの3方向で考えたい。インターについては、①

東山工業団地②物産館③手ノ子地区内の3か所を要望したい。一昨年の七月に設立された新潟山形南部連絡道路整備促進協会との協議を継続し、安全確保の重要性と防災拠点としての道の駅の役割を果たせるよう整備したい。

質の高い教育の具体的な実施・実践の方向性について

質問 未来を切り開く

子どもたちの教育環境の整備は、町の重要な政策である。新学習指導要領が改訂され、令和2年度から小学校で

の英語教育やICT（情報通信技術）を活用した教育カリキュラムが導入される。こうした動きに対応するための町の基本的な考え方は。また、こうした国の改革により、保護者の教育費の負担増とはならないのか。町が行っている希望塾の有り方に変化はあるのか。

本年度は通信ネットワークの整備を実施

町長 グローバル化に対応した小学校での英語教育については、平成28年度から外国語指導手を二名体制とし、今年度から英語・ICTコーディネーターを配置して外国語活動の充実をはかる。ICT

環境の整備については、国の「GIGAスクール構想」の児童生徒一人1台コンピュータ実現を目指し、令和2年度では通信ネットワークの整備を行い、令和3年度に児童生徒一人1台コンピュータ実現を行いたい。この度の教育改革に伴う保護者の負担が増えることがないようにしたい。希望塾については、英語教育の指導方法の変更などを検討し、全体の底上げをはかっていきたい。

マイナンバーカードの普及施策本格化に向けた対策について

質問 平成28年1月から実施されているマイナンバー制度を推進するため国は、令和3年3月からマイナンバーカードの健康保険証明書の仕組みを本格化する

マイナンバーカードの取り組みを強化

町長 現在のマイナンバーカードの交付は、1183件で16・5パーセントである。国から示されている利用分野の準備は進めていきたい。町独自の利用方法については、ランニングコストや情報管理の面から解決しなければならぬ課題も多く、今後検討していきたい。（本人執筆）



りをめざして

総務文教 委員会所管分



予算特別委員長

古山 繁 巳

令和2年度一般会計、特別会計及び水道事業会計合わせて12件について、予算特別委員会を設置し審査しました。

委員長に古山繁巳、副委員長に高橋亨一両委員を選任、3月12・13日の2日間わたり慎重かつ活発な審査を行い、いづれも認定すべききものと決しました。

一 般 会 計

高橋(勝)委員 教育振興需用費は。

教育総務課長 学習指導要領の改訂により教科書が変わります。

それに伴い、令和2年は小学校、令和3年は中学校の教科書が変わります。児童用教科書図書は国が無償で支給しますが、教師用指導図書は教科書分を、町で用意する金額は700万円強を要します。

住民課長 デマンド交通の利用を推進してい

遠藤(忠)委員 高齢者の運転免許証返納後の対策については。

デジタル教科書についても700万円強、合計1500万円程要します。デジタル教科書については、どの教科書を用意するかは、今後の検討となります。

デジタル教科書については、どの教科書を用意するかは、今後の検討となります。

デマンド利用券1万6000円は浸透していません。デマンド交通のチラシを配布し、新たな登録については社会福祉協議会に電話していただければ大丈夫とのことお知らせします。

高橋(亨)委員 きぼうの桜植栽事業内容と場所は。

町民総合センター所長

村田さち子先生が東日本大震災の復興の思いを込めた合唱曲「希望の桜」を作詞しています。2017年度宮城県七ヶ浜町で開催された第1回希望の桜サミットに、本町の女性コーラスが参加した縁で、一般財団法人ワンアースより、数千年生きる特性を持つといわれる宇宙桜の苗木の目録をいただいたものです。植栽する場所は、



飯豊中大規模改修工事におけるエレベータ工事

舟山委員 人口減少対策について。

企画課長 「いいで村をつくろう」のプロジェクトがある。今年度計画を進めていたが、空き家所有者との交渉途中で他界されたため、借りられなくなったので、令和2年度に進める事としました。多くの若者や、町内外の関係する人が参加して、自分たちの居場所づくりを進めていきます。

予算特別 委員会

活力ある町づく

屋嶋委員 地域おこし協力隊事業は。

設けています。

企画課長 募集方法は町のホームページ、SNS、フェイスブック、NPOふるさと回帰センター、一般社団法人移住定住推進機構（ジョイン）等を利用しています。ジョインは首都圏で移住フェアや移住希望者の相談窓口を

本町でこのような募集をしている説明やチラシ配布などを行って紹介をいただいております。

遠藤(芳)委員 将来における財政状況はどのようになるか。

副町長 これまでも町



中津川より国道113号線迄の水仙ロード

では大型プロジェクトを実施しながら運営してきておりますが、その事業に取り組むと、後年度負担がくるとの繰り返しで、町政運営が成り立っています。

この間、町では行財政改革大綱を四次にわたり進めて、4年前に終了しています。今後についても厳しい財政状況が続くことが予想されますので、職員一人ひとりに対してもしっかり検討して緊張感を持って財政運営するようにその都度話をしていきます。令和2年度の財政予算要求でも、町の状況に鑑みて編成しています。これからについては、町民の皆さんに喜んでいただける町づくりに努めてまいります。

後藤委員 防犯灯のLED化について。

住民課長 LED化工事はポールと灯具が2基、灯具のみの工事で47万円支出しています。地域座談会であった要望を受けて新規に6基分120万円と灯具のみ8基分で、52万円を予定しています。

%相当について市町村分の法人住民税の引き下げ2%相当が県に入り、県で配分する予定です。

川崎委員 非常用自家発電整備事業は。

総務課長 現在町には、非常用電源設備は備えておりません。非常用電源を設置する考え方として、災害が発生した場合、外部からの救助が到着するまでに72時間程度かかると言われていますので、その72時間程度で、電源を確保することが必要となってきます。町の対策本部や住民生活を持続するために設置するものです。設置する場所については、様々な状況を想定しながら検討してまいります。

川崎委員 法人事業税交付金について。

総務課長 国の制度設計で消費税改訂により出てきています。当初29年度より入る予定が、実質的には令和2年に前年度分も含めて入る状況です。今後の国の法的制度が不明なので、恒常的な収入になるのかは分かりません。算定内訳は道府県の法人事業税額の7:7

算定内訳は道府県の法人事業税額の7:7

産業厚生所管分

地域課題を解決し、実のある予算編成へ

一般会計

川崎委員 森林環境譲与税872万円ほどの事業で活用していくのか。

農林振興課長 森林整備や作業道の修繕などの委託業務が主になります。今後は森林境界の明確化のための航空レーザー調査測量を計画し、残分は基金に繰り戻します。

高橋(勝)委員 中小企業振興費補助金について補正で2100万円の減額を行なっていて、本年度予算で4000万円の計上になっっている理由は。

商工観光課長 雇用の拡大の具体化や専門職



町内の豊富な森林資源

大学誘致がすすめば民間側の資本投資の意欲も高まると見込んでいます。住環境の整備は大きな課題と認識しており、民間企業の取り組みの支援として一戸200万円助成で30戸程度を見込んで増額しました。

屋嶋委員 移動支援業務委託料430万円の支援内容は。

健康福祉課長 令和2

年度からの新規事業になり現段階での検討内容では、一つ目が人工透析療法を受けており定期的な医療機関に通院することが必要な方のうち、一定の要件を満たす方の移動を支援するものです。二つ目が地理的要因から通所介護サービスを受けることができない方の移動支援で、現在は中津川地区のデイサービス利用者が対象となります。

舟山委員 住宅リフォーム支援事業費補助金1580万円の本年度の予定件数は。

地域整備課長 47件を予定しており、ホームページやチラシの全戸配布で周知を行ない

ます。

遠藤(芳)委員 中小企業振興費補助金の内訳だが、社員寮やアパートなどの電池バレー構想に偏った予算編成になっているのでは。

商工観光課長 人材確保・住環境の整備・商店や創業支援などの項目もあり決して偏ったものではありません。

高橋(亨)委員 老人世帯除雪費支給580万円の見込み世帯数は。

健康福祉課長 一定の要件を満たした高齢者宅に対しての支援事業になります。一つ目は屋根の雪降ろしと住宅周辺の除雪を行なう除雪ヘルパー派遣事業で32件。二つ目は除雪へ

ルパーを使用しない世帯への除雪費助成事業で327世帯を見込んでいます。

遠藤(忠)委員 強い農業 担い手づくり総合支援事業の内容と予定している農家件数は。

農林振興課長 地域の担い手が農業用機械や施設導入に対して行う支援事業です。新年度の要望を聞き取り中ですが、現在11経営体から申請があり内訳は個人で9経営体、法人で2経営体となっています。



担い手育成は急務 (萩生：後藤直樹氏園地)

後藤委員 空き家対策事業と増額理由は。

電池バレー構想関連

(質問委員多数)

特別会計

地域整備課長 空き家解体工事を1件の委託料と工事費となります。

敷地内の母屋のほか小屋や物置・立ち木などを除去を行ないます。建物も6棟あり工事の発注にも専門の知見が必要なことと、更地にするための増額となっています。

問 電池バレー構想人材育成業務委託料2000万円の内容は。

答 一つ目が学生確保のためのプロモーションガイド作製活動を行ない、本町の映像や写真をまとめ町の立場で学生獲得に協力していきます。二つ目は地元企業と大学関係者による共同事業体の立上げを計画し、卒業生を地元企業への就職に結びつけたいと考えています。地元企業の技術力向上や製品開発を進める共同事業体の組織化を進めます。

ことで町がやり過ぎていたのでは。

答 町が担うべきことは地方創生の視点のなかで、赤門学院と連携していくことになりま

す。直接大学の宣伝を行なう訳ではないが、町の良さや自然環境の豊かさのなかで大学運営がされていく点など、優位性は訴えていきたいと考えています。

問 貸工場の使用料が歳入に計上されていないがその理由は。

答 完成予定の9月に貸工場設置条例を提案し、歳入は9月議会において補正で対応を行います。

問 産学官金共同人材育成システム構築業務委託料200万円の事業内容は。

答 専門職大学には高度技術者が必要です。教員また実務家教員として活躍していただくための、人材育成プログラムを構築するものです。



電池バレー構想の行方に注目

遠藤(芳)委員 向原増圧ポンプ場更新工事2億円の財源になる企業債返済計画は。

後藤委員 上水道の有収率はいくらか。また無駄水になっている原因は。

地域整備課長 5年据え置き30年で返還するものです。

地域整備課長 約80万トンの水量のなかで有収率は76・6%になります。無駄水の原因は漏水で、毎年漏水調査を行い老朽管の入れ換え工事を行って対応しています。

遠藤(忠)委員 介護老人保健施設の利用者1人あたりのコストはいくらか。

老健施設事務長 施設利用の時間と介護員の人員配置の状況を勘案しての概算では、入所者1人あたり月額は約70万円で、通所利用者は約23万円となります。

危険を伴う空き家



問 電池バレー構想人材育成業務委託料の内容は、赤門学院がやる

し、歳入は9月議会において補正で対応を行います。

です。



水道事業は命の源

飯豊町長選 告示日10月24日

総務文教常任委員会

各課からの報告

●総務課

*今年行なわれる飯豊町長選の告示は10月24日、10月29日投開票と決まりました。

*今年度の退職者は、3名で、行政職2名保育士1名です。新規採用は行政職2名保育士1名です。他おいたま荘から1名勤務です。

●企画課

*19年度住民税非課税者と3歳未満の子の世帯主を対象者として、プレミアム付き商品券事業を行いました。

交付対象者1395名のうち528名からの申請がありました。

●税務会計課

*新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、申告期限・納付期限について、令和2年4月16日まで延長することな

りました。

●社会教育課

*飯豊町歴史文化基本構想として、19年度まで調査・策定・発信事業を進めてきました。

今後飯豊遺産を守り有効な推進を目指していきます。

●教育総務課

*新型コロナウイルス感染予防の観点から、学校を休みとしていますが、中部と白樺の学童保育に日々、15名ほどの利用があります。



文化財の天養寺観音堂

質問と答弁

後藤委員

町長の施政方針にもあった、機能別消防団員の進捗状況は。

総務課長

本部分団を除く、第一分団から第五分団への配属で、OBの方それぞれ5名程度と考え、現在お願いをしています。

舟山委員

手ノ子幼稚園が、4月から休園と聞いているが、何人の人数で再開と考えているか。

教育総務課長

説明会では、10人以上の入園児が見込まれなければ、再開は厳しい。今後も保護者のご意見を聞きながら、様子を見て行きます。

遠藤(忠)委員

中学校の送迎などの退避場所を設けられないか。

教育総務課長

スクールバス以外は、自転車か徒歩が基本です。もし送迎をする場合は、役場駐車場やあーすの駐車場を利用していただきます。

高橋(亨)委員

中学校の改築工事の進捗状況は。

学校教育振興室長

現在エレベーター設置工事を予定どおりに進めています。春休み中予定の校舎LED設置とエアコン設置を前倒しして実施しています。

屋嶋委員

各住宅の火災報知器を取付けて10年になる。電池切れが考えられるが、対応が必要では。

総務課長

交換は基本個人的対応と考えています。しかし、人命に関わることでですので、高齢者の一人暮らしの方への対応は考えていきます。

菅野委員

現在勤められている臨時の方の定年を、どう考えているか。

総務課長

定年の考え方は基本ありません。職種と合って勤務できるまでお願いしています。

コロナ対策は万全か町の対応は

産業厚生常任委員会

各課からの報告

●農林振興課 農業委員会

農業委員と豊川財産管理会副会長を速やかに選任しなければなりません。

農業委員は所定の募集期間を要し、財産区管理委員は住民の意見を聞かなければならぬので詳細は関係者と協議の上進めます。

●商工観光課

新型コロナウイルスの影響拡大により、飲食店や宿泊業が大幅な売り上げ減少となっていることから、一定の条件を満たす場合は現行の「地域経済変動対策資金」を無利子で融資することを県より情報提供が3月16日の県議会で可決後実施。

町内の飲食店等の状

除雪費の執行は、32町内限定で一般競争入札を執行しましたが、が落札となりませんでした。

除雪機械の売り払いは、予定価格に届かず、県

質問と答弁

遠藤(芳)委員 ウイル

スによる中小企業への影響調査と今後の取り組みと財源は。

商工観光課長 融資の申し込みがあった場合、

1回目の保証料の補給と利子補給があるが、

新年度予算での対応になります。

3月中に申請があっても今年度中に保証料の補給金が払えることを確認しています。コロナウイルスに限らず、ある程度見込んでいるので当面それで対応し、見通しが立ったら補正予算で対応します。

遠藤(忠)委員 社会福

祉協議会のトレーニングマシンの前にテレビを設置してもらえないか。

農林振興課長 原料の管において、水田活用で生産振興対策として考えていきます。

川崎委員 下水道事業

の公営企業会計への移行はアウトソーシング(外部委託)で対応するのか、町独自か。国・県の助成制度はあるのか。

高橋(勝)委員 菅笠を

継者対策は。

上下水道室長 共同ア

ウトソーシングのシステムを利用して移行していきたい。特別交付税での措置がされる話はあるが正確なものは確認していきます。

健康福祉課長 筋トレ施設には大きな窓があり、田園風景を楽しめる環境になっています。

商工観光課長 生産者と意見交換をしていきます。現状の販売価格は生業として厳しいので今後の対応を検討していきます。



落札されなかった除雪車

条例・補正予算

会計年度任用職員制に改まる

新たな条例

○飯豊町森林環境譲与
税基金条例

○飯豊町交通指導員設
置条例を廃止する条
例

一部を改正する
条例

○空き家等の適正管理
に関する条例

○公民館の設置及び管
理運営に関する条例

○職員の勤務時間、休
暇等に関する条例

○議員、その他非常勤
職員の公務災害補償
等に関する条例

○特別職の給与に関す
る条例

その他9件

令和元年度 一般会計補正予算

主な収入	●社会資本整備交付金	1030万円増
	●農林水産費県補助金	7530万円減
	●ふるさと寄付金	3500万円減
	●町債	1850万円減
	●法人町民税	430万円増
	●普通交付税	3330万円増
	●基金繰入金	1億5850万円減
主な支出	●定住推進費	937万円減
	●老人福祉費	1240万円減
	●農林振興費	148万円減
	●畜産振興費	4520万円減
	●商工振興費	2258万円減
	●道路維持費	1650万円増
	●消防施設費	221万円減
	●学校管理費	647万円減

特別会計補正予算

事業勘定	●国民健康保険	保険給付費	3356万円減	
	●施設管理費ほか		1413万円減	
施設勘定	●後期高齢者 医療保険	特別徴収費	173万円減	
	●介護保険	保険給付費	2842万円減	
	●訪問看護	療養交付費	21万円減	
	●介護老人保健施設	施設費	285万円減	
	●下水道事業	集落・生活 排水事業	1367万円減	
	●各財産区	萩生		21万円減
		豊原		11万円減
		添川		104万円減
中津川			99万円減	

公の施設の
指定管理者の指定

○福祉事業所「でんでん」

指定先
社会福祉法人
すぎな会



指定管理者がきまる「でんでん」

第1回臨時会

2月12日に臨時会が開催され、令和元年度一般会計補正予算(第11号)を可決。内容は少雪対策として除雪委託料を道路維持等への組み替えです。

議会活動

産業厚生常任委員会
議会運営委員会

意見書提出

◆長井飯豊線小白川地内の隘路解消の意見書提出
請願書提出者

飯豊町地区協議会長等会長 井上 俊一
小白川区民会長 高橋 庄一

要望者

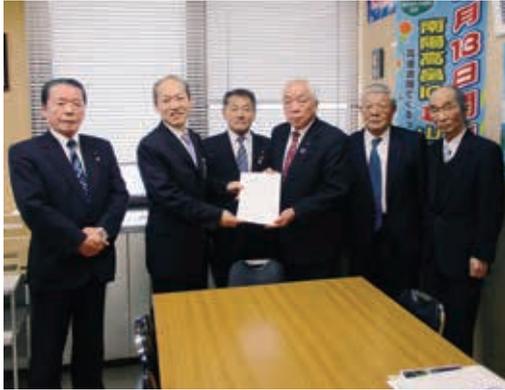
議長 菅野富士雄

産業厚生常任委員長 古山 繁巳

提出先

県土木整備部長 角湯 克典

期日 令和2年1月21日



山形県土木整備部長に意見書提出

要望書提出

◆新潟山形南部道路建設促進要望書提出
要望者

飯豊町議会・議長・議会運営委員
新潟山形南部連絡道路「飯豊町区間」
早期実現推進協力会長 草刈 一郎

提出先

衆議院議員

鈴木 憲和・遠藤 利明・加藤 鮎子

参議院議員

舟山 康江・芳賀 道也・佐藤 信秋

期日 令和2年2月18日



衆・参国会議員に要望書提出

人事

◆固定資産評価審査委員会委員の選任に次の方を同意しました。

大字川内戸

渡部 恵介氏

◆人権擁護委員に次の方を候補者に推薦しました。

大字添川

茂木 栄子氏

その他議案

○過疎地域自立促進計画の変更
過疎対策を進めるため過疎自立法に基づき過疎地域自立促進計画を変更するものです。

○高峰辺地に係る総合整備計画の変更
辺地対策を進めるため、辺地に係る公共的施設の総合整備のため特別措置等による法律に基づき、総合整備計画を変更するものです。

次回の定例会開催は6月です。議会の傍聴においでください。お待ちしております。◆お問い合わせ 議会事務局まで

一部事務組合議会報告

置賜広域病院企業団議会

2月定例会が2月12日開催され、病院事業会計の令和元年度補正

予算と令和2年度予算、診療科目を追加する条例の一部改正などと11

議案を審査し、原案を可決しました。

2年度の予算は、収益的事業の収入総額を

167億5525万円と見込みました。

西置賜行政組合議会

○育休条例を一部改正

西置賜行政組合議会が3月25日、長井市の同組合消防本部庁舎で

定例会を開催し、令和元年度一般会計予算、職員の育児休業等に関する条例の一部改正など5議案を原案どおり

可決し、閉会しました。

一般会計の総額は14億9031万円

で19年度比4.2%減です。

広報公聴委員会からのお知らせ

皆さまの声を大切にいろいろなグループの方との意見交換会を募集しています。

お気軽に申し込みください。お待ちしております。

編集後記

令和2年の年は、みなさんにとって忘れられない年になりそうです。雪の少ない冬とコロナウイルス問題、その影響により寂しい卒業式と入学式、これから開催される東京オリンピック、パラリンピックが延期となり、一日も早いコロナウイルスの終息を願うばかりです。

この一年がこれ以上の出来事がないことを願いながら委員一丸となって発行にあたり、町民と議会がつながる広報に取り組んでいきます。

高橋(亨)記

置賜広域行政事務組合議会

令和2年2月20日定例会を開催し令和2年度会計予算、令和元年

度補正予算、条例の一部改正、監査委員人事

11議案を審査しいずれも原案のとおり可決しました。

一般会計予算の総額は歳入歳出それぞれ37億825万円となりました。



議会だよりのご意見ご感想などを議会事務局までお寄せください。



発行責任者
議長 菅野富士雄

発行
広報公聴常任委員会

委員長 高橋 亨一
副委員長 舟山 政男
委員 古山 繁巳
遠藤 芳昭
屋嶋 雅一
高橋 勝